

田中實學 （字） 國體學者、在家佛教運動家。文久元年十一月十二日江戸生れ、昭和十四年十一月十七日歿（二六二一九元）。舊姓多田、本名巳之助、幼名秀丸。別號巳雷、智學居士、師子王學人、師子王道入等。明治二年出家と、のち還俗して在家佛教運動を推進。十三年蓮華會と、十七年と正安國會と、大正三年國社會と興し、雑誌『毒鼓』、『白蓮主義』、『妙宗』等を創刊、國體學の提唱、白蓮主義の鼓吹に努めた。高山樗牛等文學者の影響を與へたことも有名。

著書『大家佛教演說集』（合著・田島教惠筆記、増補出版・明治二十五年四月五日法藏館）、『龍口法難論』（大正四年九月二日新潮社）『白蓮主義研究叢書』（『獅子王瑣言』（大



正十年九月六日大業民報社）、『我等の劇』（合著・國民劇研究会編、大正十年十一月二十日國民劇研究会、大業民報社）、『獅子王戯曲』（本名、大正十一年二月六日千葉・國性文藝會、大業民報社發賣）、『人形の家を出て』（同、大正十一年五月十二日國性文藝會）、『思想劇』、『函谷關』（同、大正十一年七月十五日千葉・國性文藝會、大業民報社發賣）、『殉教』、『豐屋大兵衛』（同、大正十一年七月十五日千葉・國性文藝會、大業民報社發賣）、『承久の泰時一附御靈の前』（同、



大正十四年十一月二日静岡・國性文藝會、大業民報社發賣）、『國體總論』（同、昭和二年八月二十二日大業民報社）、『國體の語』（昭和二年九月十八日大業民報社）、『大國聖白蓮上人』（昭和四年二月二十二日、普及

版・八年六月十五日春秋社）、『法華經涅槃經』（自我渴の新しく講義）』

（昭和六年）二月九日大業民教社）、『^増補國性民曲集』（田中巴署名、

昭和十一年二月十一日静岡・國性文藝會教養所）、『選舉問答』（昭

和十一年四月十二日節子主義會）、『報恩抄大意』（高田聖泉校註記、

昭和十七年十一月二十日信人社）、『國體の權化明治天皇』（昭和十

八年九月）二十日大業民教社）等。

文獻 『節子主義集完成祝賀會發起の趣旨』（昭和十一年七月節子主義全

集完成祝賀會）、里見岸雄著『田中智學の國體開發』（昭和十五年四

月十八日錦止社）、『節子主義會一覽』（昭和十七年七月定之、神奈

川・節子主義會）等。